令和8年度　飯塚市立菰田小学校　学校通信
菰田っ子
〈学校目標〉明るく強く、心やさしく、よく考える菰小っ子の育成
令和8年10月22日
第12号
児童数　180名
校長　桂　芳州

力を出し切り、一人ひとりが輝いた素晴らしい運動会でした！



10月17日(土)第102回の菰田小学校運動会が行われました。開会式では、「本気の声、本気の動き、本気の態度で素晴らしい運動会にしてほしい」と話しました。応援合戦では、赤白それぞれの応援の後に、今年から新たに「全校応援」を行いました。白と赤の応援団長の掛け声の中、菰田小全員で応援を行い、運動会の序盤を盛り上げてくれました。競技の中では、大きな差がついてもあきらめずに全力で走る子供の姿、低学年の手をひいて全校競技の場所へ連れて行ってくれた高学年の姿、他の学年の演技を一生懸命応援する姿など素敵な場面がたくさんあった運動会でした。閉会式の時にも話しましたが、涙ぐむ場面がたくさんあった見る人を感動させた運動会。「力を出しきって勝利をつかみとれき・あ・い・だ！」というスローガン通りの素晴らしい運動会でした。応援に来ていただいた保護者や地域の皆様ありがとうございました。

最後に保護者や地域の方からうれしいメッセージが届いていますので紹介します。

どの学年の表現も素敵で、すっかり見入ってしまいました！5、6 年生は高学年らしい力強い演技。3、4 年生は腰をしっかり落とした華のある演技。1、2 年生は大きな成長が見えた演技でした。校長先生と同じく、初めから涙ながらに見させていただきました。感動をありがとう！

菰田小学校児童全員の皆さん素晴らしい運動会をありがとうございました。キリッとした顔、キラキラした笑顔、全力でバトンを繋ぐ顔たくさんの一生懸命を見て感動とパワーをもらいました。1 人、1 人が運動会の主人公でしたね！
また、今日を迎えるまで日頃の仕事に加え準備や練習など大変だったと思います。校長先生はじめ先生方が今日は心身ともに、ゆっくりした時間を過ごせますように願います(^^)

初めて観覧させていただきました。
子どもたちのやる気がとてもよく伝わってきました。子どもたちの横の繋がりや全校でのまとまりが様々な場面で見られました。特に高学年が低学年を引っ張る姿が素晴らしかったです。6年生は素晴らしいリーダーだったと感じます。1、2 年生のダンスはとにかく可愛かったです。3、4 年生の花笠音頭は今時なテイストも加えられ楽しませていただきました。
5、6 年生のソーラン節と組体操は圧巻でした。勢いがありとてもかっこ良かったです。先生方の協力体制も素晴らしいと感じました。
とても心に残る運動会でした。ありがとうございました。

子どもたちは一生懸命競技をしていました、それを見て大変感動しました。
特に踊り等の表現力豊かさが良かったと思います。

まだ入学して半年しか経ってない１年生も、一生懸命踊ったり、走ったりしている姿に成長を感じとても感動しました。中学年の花笠音頭も一体感があり良かったです。高学年のソーラン節＆組体操も、息の合った演技に感動しました。玉入れで息子が低学年の子の手を引っ張って行く姿に成長を感じ、家では見せない姿に嬉しかったです。短い練習期間で、こんなに素晴らしい運動会を見せてもらい、ありがとうございました。

最後の運動会でしたが、6 年生が最上級生としての自覚を一人ひとりが持ち、一生懸命に取り組んでいる姿に感動しました。先生方のおかげで今の 6 年生があると思います。
ありがとうございました。

最初の応援合戦から菰田っ子が１つになって頑張る姿、かっこよかったです。どの学年も練習の成果が最大限に発揮された素晴らしい運動会でした。先生方も毎日のご指導ありがとうございました。子どもたちの成長が感じられてとても感動しました。

どの部分でも子どもたちの真剣な顔をみることができ、自分たちの力で成功させた運動会というのを随所に感じました。先生方のサポートがたくさんあった事、本当に感謝でいっぱいです。また、トイレ休憩についていってあげたり、ダンスでも一緒に登場するなど、上級生から下級生へのサポートを見ることができ微笑ましく感じました。普段、家では見ることのない表情を見せてくれて、ありがとうございました。

菰田小学校校長　様

　菰田小学校の入学式や卒業式の印象は、自らの過去の体験や印象（昭和３３年度卒当時の卒業生３２０余名）を引きずる習性がどうしても抜けずに、時代の流れである人口減、とりわけ少子化による大幅な児童数減少に複雑な印象を抱いて各式典に参列し児童を見守ってきた。
　ところが今回の運動会でその印象が一転したのである。
　全児童数２００名ながら、運動場「所狭し」とばかりに児童のエネルギーが雲一つない青空の下で発散されていた。1年生から6年生までの学年格差を配慮しつつ、実に工夫されたプログラムが編成され、6年生から後輩への確かなメッセージのバトンも渡され、12種類のプログラムは感動のうちに終わった。まさに演技・競技・応援等を十二分に考慮した「美」と「力」に溢れた菰田小学校の祭典であった。

　興奮と感動の余韻に浸りながら校門の坂道を下りながら「21世紀に生きる君たちへ」（司馬　遼太郎　作）の結びの言葉がふと浮かんだ。
　それは、「君たちの未来が、真夏の太陽のように輝いているように感じた」と書かれた言葉であった。
　児童の皆さん感動ありがとう。
　そして先生方のご指導に敬意を込めて